

薬草とハーブの春植えが行われました

2015年4月19日（日）、玉浦西地区の大樹公園で、地域住民と支援者によって、薬草とハーブの植栽が行われました。

今回の春植えのイベントは、昨年2014年9月28日に行われた、秋植えのイベントにつづくもので、宮城県や地域で活躍されている薬草の専門家の皆様からの支援を受けて行われ、薬草もご提供いただきました。

春植えで植栽された薬草は、アイ、ベニバナ、エビスグサ（以上東北大学薬学部附属薬用植物園より持参）、ハトムギ、ハルウコン、ウコン、シクチリソバ（以上宮城県薬用植物園より持参）です。また、ハーブは、ラベンダー、ローズマリー、セージ、ジャーマンカモマイル、ポリジ、ラムズイヤー、エキナケア、セントジョンスワート、オレガノ、ベルガモット、セルフヒール、ルバーブ（以上ハーブガーデン・エルフの森）です。

当日は、日本薬用植物友の会の我妻邦雄さん、宮城県薬務課の高橋剛さん、安藤京子さん、NPO法人薬用植物普及協会みやぎの草野源次郎先生に、薬草の植え付けのご指導をしていただきました。また、ハーブは、ハーブガーデン・エルフの森の岩佐和子さんのご指導のもと植栽しました。

今後も、「県薬用植物園のサテライト」として充実を図り、玉浦西の住民のみなさんと、薬草を学びながら育てていきます。



植栽の様子



春植えイベントに参加したみなさんの集合写真